

防災便り

第10号

自主防災の基本

自助：自らの【命・家族・資産】は自ら守る

近助：防災は【近所の助け合い】が大切

共助：自主防災は【B藤沢自治会】主体の自主防災隊

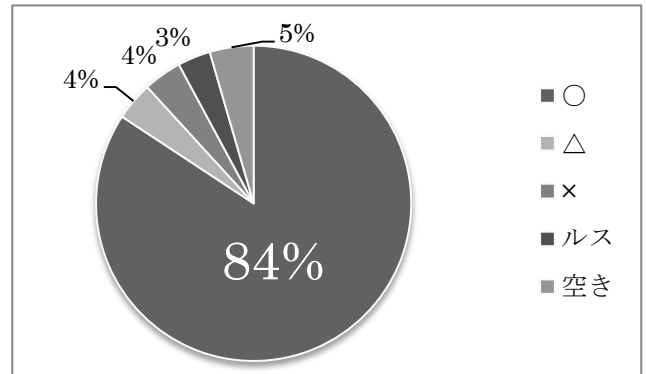
平成29年11月（情報班）発行

B地区藤沢自治会自主防災隊

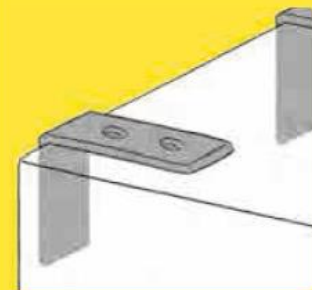
安否確認訓練の報告

9月18日の、滝小避難施設自主防災訓練と同時に、B地区藤沢自治会として「安否確認訓練」も行いました。皆様のご協力により、下記のように好成績で実施できましたことを、ご報告いたします。

○(白タオル掲示)	150戸
△(インターホーンで確認)	7戸
×(掲示なし)	7戸
ルス(事前に連絡)	6戸
空き	8戸
合計	178戸



転倒・落下・移動防止器具



□ L型金具(下向き取り付け)

家具と壁を木ネジ、ボルトで固定。スライド式、上向き、下向き取り付け式があり、下向き取り付けが最も強度が高い。



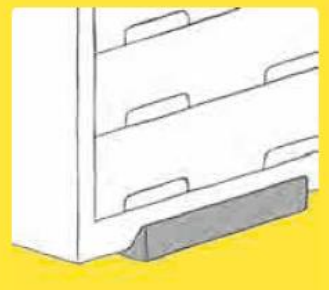
□ ボール式器具(突っ張り棒)

ネジ止めすることなく、家具と天井の隙間に設置する。粘着マットやストッパーとの組み合わせで強度が高くなる。



□ チェーン

つり下げ式照明器具などをチェーンやワイヤーなどで結ぶ。



□ ストッパー式

家具の前下部にくさびを挟み込み、家具を壁際に傾斜させる。



□ 粘着シート(マット式)

粘着性のゲル状で、家具の底面と床面を接着させる。



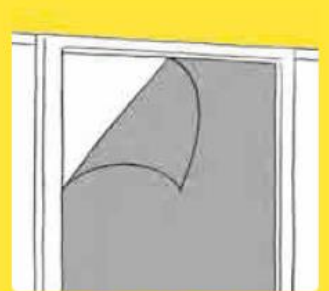
□ 着脱式移動防止ベルト

壁とキャスター付き家具をつなげ、移動を防止する。



□ キャスター下皿

キャスターの下に置き、家具の移動を防止する。



□ ガラス飛散防止フィルム

ガラス製の扉、窓などに貼るフィルム。割れた際の破片飛散を防ぐ。

「東京防災ハンドブック」より

地震保険について皆さんは知っていますか？

おそらく会員の皆さんは自宅につける火災保険はほとんどの方は加入されていると思います。住宅ローンを借りている方は必ず加入しています。

しかし火災保険に付帯する地震保険については加入されている方はどのくらいでしょうか？2016年損害保険料率算出機構の県別データを見てみましょう。

都道府県	世帯加入率	都道府県	付帯率
宮城県	51, 8%	宮城県	86, 4%
神奈川県	35, 1%	神奈川県	59, 3%
熊本県	35, 6%	熊本県	74, 3%
全国合計	30, 5%	全国合計	62, 1%

* 世帯加入率＝地震保険加入件数/住民基本台帳に基づく世帯数

* 付帯率＝地震保険契約数/火災保険契約数

世帯加入率も付帯率も宮城県がダントツです。付帯率では熊本県も高い付帯率です。

2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震それぞれの翌年に大きく伸びている実態があります。

やはり大地震に直面して意識が変わったといえるのではないのでしょうか。

地震が原因で火災になってしまった場合は、地震保険に加入していないと保険金はもらえません。どんなに頑丈な家にしても、震度7が来ても壊れない家にしても、崩れはしないけど地震が原因で火災になって燃えてしまったら保険金はおりません。



確かに保険料が高いので加入をためらっている方もいます。ただ、いつ大型地震が襲ってくるかわかりません。備えよ常に。未加入の方は地震保険の加入を検討してみてくださいはいかがですか。具体的方法は加入されている火災保険会社の代理店に確認するか、日本損害保険協会HPIにアクセスを。

日本損害保険協会HP

<http://www.sonpo.or.jp/insurance/commentary/jishin/>



政府広報オンライン

「暮らしに役立つ情報」

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201701/2.html>



(文責:645-6 網野 俊)

次回安否確認訓練ご協力をお願い

下記日程で、B地区藤沢自治会の防災訓練が予定されております。

次回も、当日の朝に安否確認訓練も実施したいと思います。

詳細につきましては、後日案内されますが、前回同様に、玄関・門扉等の外から見やすい位置に、「白いタオル」を掲示していただくことをお願いします。

実施日：12月3日（日）（防災訓練当日）

